

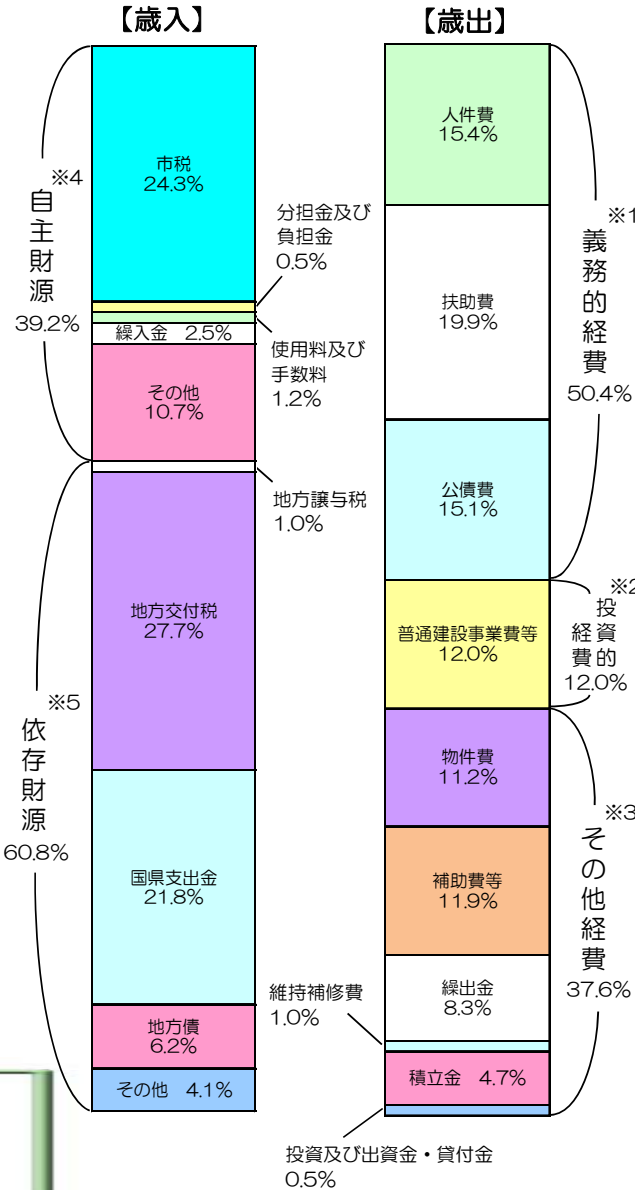
令和5年度浜田市決算状況をお知らせします

令和5年度の一般会計決算状況は、歳入決算額が402億4,113万円（対前年度比4.4%減）、歳出決算額が392億3,665万円（対前年度比3.6%減）、翌年度へ繰り越す財源1億6,020万円を除いた実質収支で8億4,428万円の剰余金が生まれました。少子高齢化の影響により、引き続き社会保障関係経費（扶助費）が高い水準で推移していることに加え、国際情勢による燃料や物価の高騰などの影響が見逃せない中で、財政運営は先行きが不透明な状況が続いています。今後も継続して行財政改革実施計画を着実に推進し、持続可能な財政体質の確立に努める必要があります。

歳入総額 402億4,113万円

歳出総額 392億3,665万円

区分	決算額	具体的な内容
自主財源	市税	皆さんが納めた税金（市民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・入湯税）
	97億8,803万円	
	分担金及び負担金	特定のサービスを受ける人に負担してもらったお金（保育料・福祉施設入所負担金など）
	2億1,388万円	
	使用料及び手数料	市の施設の使用料や、住民票の発行手数料など
4億7,592万円		
繰入金	基金（市の預金）を取り崩したり、特別会計（下段参照）から移し入れたお金	
10億902万円		
その他	預金利子や市の貸付けの返済金・事業受託収入・寄附金など	
42億9,069万円		
依存財源	地方譲与税	市に一定基準配分される、国が徴収した揮発油税や自動車重量税など
	4億197万円	
	地方交付税	市税収入の少ない市でも、市民に一定水準のサービスが行えるよう、国から交付されるお金（所得税や法人税・消費税・酒税などを配分）
	111億6,949万円	
	国県支出金	市が行う事業に対し、国や県が負担するお金
	87億6,690万円	
地方債	多額の経費がかかる事業（道路改修や災害復旧など）を行うために、国や銀行から借りたお金	
24億9,233万円		
その他	地方消費税交付金・交通安全対策特別交付金・地方特例交付金・配当割交付金など	
16億3,290万円		



区分	決算額	具体的な内容
義務的経費	人件費	市職員の給与や共済費など ※職員の給与などの詳細は、広報はまだ令和6年3月号に掲載
	60億3,180万円	
	扶助費	生活保護や高齢者・乳幼児の医療費など
78億2,006万円		
投資的経費	公債費	市が借り入れた地方債の支払に要する経費
	59億2,409万円	
普通建設事業費等	道路・橋りょう・学校など公共用又は公用施設の建設に要する経費及び災害復旧に要する経費	
46億9,437万円		
その他経費	物件費	旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料など
	44億1,074万円	
	補助費等	各種団体に対する補助金・交付金・負担金など
	46億6,497万円	
	繰出金	一般会計と特別会計又は特別会計相互間において支出される経費
	32億6,956万円	
維持補修費	市が管理する公共用又は公用施設などを維持するために必要な補修経費	
4億493万円		
積立金	基金などに積み立てる経費	
18億2,843万円		
投資及び出資金・貸付金	公営企業会計への出資金や、政策金融・学費の支援などを目的として貸付を行うための経費	
1億8,770万円		

※1 義務的経費：歳出のうち支出が義務付けられ、任意に節減ができない経費
 ※2 投資的経費：道路・学校・公園・市営住宅の建設など、社会資本の整備などに使う経費
 ※3 その他経費：特別会計への繰出金や補助費のほか物件費など、通常の行政活動を支える経費
 ※4 自主財源：浜田市が自らの権限で調達できる収入のこと
 ※5 依存財源：国や県により交付されたり、割り当てられたりする収入や、政府・銀行などから借り入れた収入のこと

浜田市の財政指数

指数名	内容	令和5年度 算定結果	財政健全化法	
			早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字率	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計の赤字額の割合	—	12.42%	20.00%
連結実質赤字率	1年間の標準的な収入と比較した、特別会計や公営企業会計を含む全ての会計を合算した赤字額の割合	—	17.42%	30.00%
実質公債費比率（3か年平均）	1年間の標準的な収入と比較した、一般会計が負担する借入などの返済額の割合	10.5%	25.0%	35.0%
将来負担率	1年間の標準的な収入と比較した、将来一般会計が返済する借入などの負担割合	6.3%	350.0%	—

令和5年度に実施した主な事業



周布川左岸地区防災拠点整備事業
（令和5年度事業費 1億1,874万円）



放課後児童クラブ施設整備事業（今市児童クラブ）
（令和5年度事業費 1億1,623万円）

歳入歳出差引額 10億448万円

【内訳】

- ・翌年度繰越金 1億6,020万円…令和6年度に延長して行う事業に充てられます。
- ・剰余金 8億4,428万円…「財政調整基金」に積み立てるほか、翌年度の自主財源として活用します。

特別会計・公営企業会計

■特別会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出	実質収支
国民健康保険事業	5,687,855	5,680,562	7,293
直診助定	239,204	239,204	0
駐車場事業	31,383	31,383	0
農業集落排水事業	572,104	560,357	11,747
漁業集落排水事業	31,673	29,955	1,718
生活排水処理事業	48,888	44,102	4,786
後期高齢者医療	971,370	949,562	21,808

※農業集落排水事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、生活排水処理事業特別会計は、令和6年3月31日付けで打切決算を行いました。

■公営企業会計 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引	
水道事業	収益的収支	1,890,255	1,723,262	166,993
	資本的収支	841,924	1,467,413	△ 625,489
工業用水道事業	収益的収支	142,864	128,879	13,985
	資本的収支	4,222	7,601	△ 3,379
公共下水道事業	収益的収支	532,892	527,779	5,113
	資本的収支	303,541	525,864	△ 222,323

※資本的収支の不足額は当年度分損益勘定留保資金等で補っています。

浜田市の会計には、一般会計のほか、特定の収入で支出を賄う特別会計が令和5年度時点で6つあります。また、地方公営企業法の適用を受け、独立採算制を原則とした水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業の公営企業会計があります。

主な会計の状況

- ・国民健康保険特別会計

項目	本市	県内平均
被保険者数（年間平均）	8,594人	5,959人
一人当たり医療費	554,336円	517,142円
- ・水道事業会計

項目	令和5年度	対前年度比
年度末給水人口	48,154人	98.0%
年間配水量（①）	7,532,489m ³	95.8%
年間有収水量（②）	5,800,498m ³	96.8%
有収率②/①×100	77.0%	0.8ポイント増
- ・公共下水道事業会計

項目	令和5年度	対前年度比
年度末接続済人口	5,509人	98.4%
下水道普及率	14.4%	0.1ポイント増
年間有収水量	553,971m ³	96.6%
1日平均処理水量	1,508m ³	95.9%

浜田さん家の1か月分の家計簿を見てみましょう

※決算額（一般会計）を1万分の1に縮小し、さらに12分の1にして1か月分の家計簿風にしてみると…

収入		市の性質別区分	金額	支出		市の性質別区分	金額
給料	市税		8万2千円	食費	人件費		5万円
家賃収入	使用料及び手数料など		4万1千円	医療費・保育料など	扶助費		6万5千円
預金の取崩し	繰入金		8千円	ローンの返済金	公債費		5万円
親からの援助	地方交付税・地方譲与税など		11万円	家の増築費・新車購入	普通建設費・災害復旧費		3万9千円
兄弟からの援助	国県支出金		7万3千円	光熱水費・日用雑貨代	物件費		3万7千円
借金	地方債		2万1千円	町内会費・ご祝儀など	補助費等		3万9千円
収入合計			33万5千円	子どもへの仕送り	繰出金		2万7千円
				定期預金	積立金		1万5千円
				家や車の修理代・友人へ貸したお金	維持補修費・投資及び出資金・貸付金		5千円
				支出合計			32万7千円



収入合計から支出合計を差し引いた金額は、毎月約8千円、1年で約10万円となりました。そのうち、約1万6千円は翌年度に使うこととし、残った約8万4千円は『財政調整基金』銀行への預金などを行います。